



2026年7月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量、積込量及び取卸量が過去最大

概要

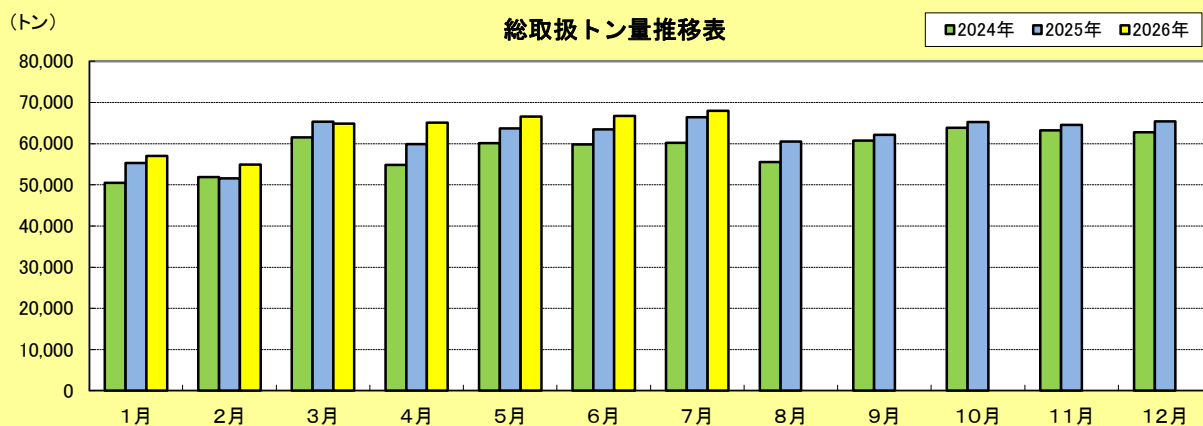
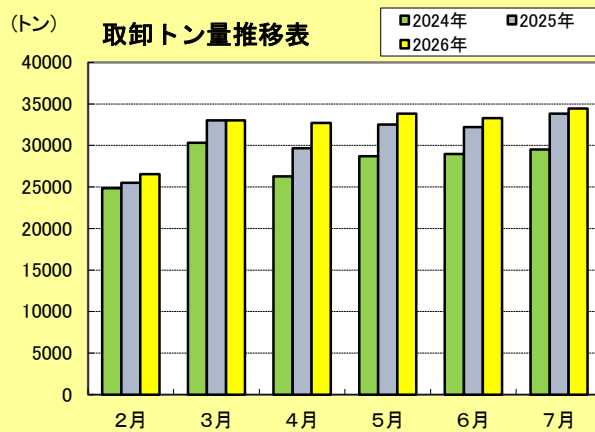
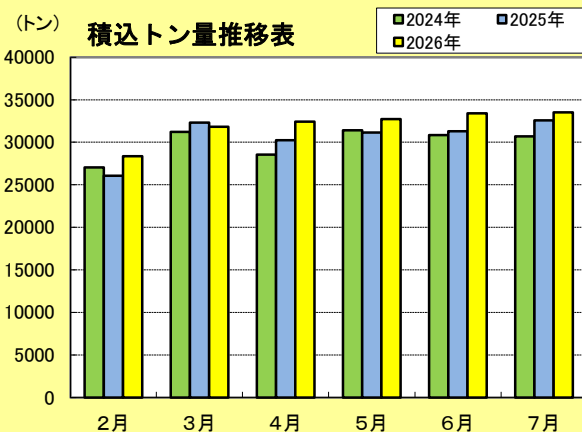
2026年7月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 67,990トン(対前年同月比 2.4%増)

積込量 33,533トン(同 2.9%増)

取卸量 34,457トン(同 1.9%増)

となり、対前年同月比でみると、総取扱量及び積込量は4ヵ月連続でプラス、取卸量は44ヵ月連続でプラスとなり、総取扱量、積込量及び取卸量が過去最大となった。





地域別通関動向

● 輸出品

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽 田 通 関 2,905 トン (対前年同月比 49.1%増、シェア 18.9%)

そ の 他 地 域 通 関 12,493 トン (同 10.8%増、 同 81.1%)

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は23ヵ月連続でプラスであり過去最大、その他地域通関は4ヵ月連続でプラスとなった。

● 輸入品

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽 田 通 関 10,863 トン (対前年同月比 4.4%増、シェア 60.3%)

そ の 他 地 域 通 関 7,153 トン (同 4.9%増、 同 39.7%)

となり、対前年同月比でみると、羽田通関は4ヵ月連続でプラス、その他地域通関は2ヵ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積 込 量 18,135 トン (対前年同月比 6.4%減)

取 卸 量 16,441 トン (同 1.0%減)

となり、対前年同月比でみると、積込量は4ヵ月ぶりのマイナス、取卸量は16ヵ月ぶりのマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

羽田空港で輸入された貨物(羽田通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生 鮮 貨 物 1,279 トン (対前年同月比 27.9%減、シェア 11.8%)

ド ラ イ 貨 物 9,584 トン (同 11.0%増、 同 88.2%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、果物40.4%(対前年同月比40.6%減)、水産物30.2%(同15.3%減)、野菜等11.6%(同24.3%減)、植物(切花等)8.4%(同9.4%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2026年7月			2025年7月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	10,863	104.4%	100.0%	10,405	132.9%	100.0%
生 鮮	1,279	72.1%	11.8%	1,774	142.5%	17.0%
ドライ	9,584	111.0%	88.2%	8,631	131.1%	83.0%